

東村山 歴史とロマン

第4号
2006.5.21
編集・発行
市北西部「歴史とロマン」わくわくする市民の会
東村山市本町2-5-2
:042-391-0020

仮称

北山たいけん館「建設延期

市財政難で予算組み込みめず

野口町3丁目のかやぶき民家園の跡地に18年度仮称「北山たいけん館」（縄文体験館・里山体験館の2館構想）の建設が始まる予定でしたが市の財政事情により、見送られました。「北山たいけん館」早期実現の願いが高まっています。



来訪者でいっぱいの菖蒲園

「歴史とロマン」夢の実現に活動の広まり

「歴史とロマン」わくわくするまちづくり市民の会では、市北西部地区の豊かな自然と歴史の宝庫といわれる地域の文化

財を浮き立たせ、町おこしをしようという活動を進めてきました。活動の高まりの中で、市も仮称「北山たいけん館」構想を策定し、18年度、下宅部（しもやけべ）遺跡出土品展示のための仮称「縄文体験館」の建設を行うことにしています。しかし、今年も延期となりました。私達は早期実現を願って活動を進めています。市北西部地区は武蔵野の原風景が残り、新緑の春から菖蒲の花のころには市内外から大勢の人が散策に訪れます。

平成17年度会計決算
平成17年4月1日～平成18年3月31日
総収入 168,270 総支出 122,295
差引残高 45,975 (次年度繰越金)

項目	予算額	決算額	差し引き額
繰越金	13,670	13,670	0
会費	120,000	84,600	35,400
助成金	70,000	70,000	0
雑収入	1,000		1,000
計	204,670	168,270	36,400

項目	本年度	前年度	差し引き額
研修費	50,000	18,755	31,225
印刷費	40,000	19,500	20,500
郵送費	80,000	56,500	23,500
事務費	1,000	2,520	1,520
諸費	1,000	25,000	24,000
予備費	32,670	0	32,670
計	204,670	122,295	82,375

会長：土方義一 会計：木村雅亮
会計監査：朝木宗光、山中清一

平成18年度会計予算
平成18年4月1日～平成19年3月31日

項目	本年度	前年度	差し引き額
繰越金	45,975	13,670	32,305
会費	110,000	120,000	10,000
助成金	70,000	70,000	0
雑収入	1,000	1,000	0
計	226,975	204,670	22,305

項目	本年度	前年度	差し引き額
研修費	70,000	50,000	20,000
印刷費	40,000	40,000	0
郵送費	80,000	80,000	0
事務費	2,500	1,000	1,500
諸費	6,000	1,000	5,000
予備費	28,475	32,670	4,195
計	226,975	204,670	22,305

平成17年度事業報告

- 5月14日 菖蒲まつりガイド打ち合わせ
- 5月29日 総会（市民センター別館にて）講演「明治維新と関東の草莽層」（講師：渡辺隆喜氏）
- 6月11日 菖蒲まつりガイド
- 6月12日 菖蒲まつりガイド
- 6月16日 第1回役員会
- 6月19日 菖蒲まつりガイド
- 7月9日 菖蒲まつりガイド反省会
- 9月15日 第2回役員会
- 10月9日 ガイドボランティア打ち合わせ会
- 10月20日 第3回役員会
- 11月3日 正福寺地蔵まつりガイド
- 11月17日 第4回役員会
- 11月20日 歴史散策ガイド
- 11月20日 手打ちうどん事業実施 参加者40名）
国分寺～東村山文化財ガイド
- 11月23日 第5回役員会
- 2月16日 第6回役員会
- 3月17日 「トトロの家」誘致運動への協力
- その他

「歴史とロマン」の会では、市の名所旧跡を訪れる人達のためにガイドスタッフを組織しました。広く市民から募集し、何回か研修会を重ね、ガイドボランティアを養成しました。現在20余名が活動中です。（裏面に詳しく紹介）

今年度の広報誌発行は1回で終わってしまいました。建設の延期は残念ですが会の事業の広がりには着実に広報部は優秀なスタッフが揃っています。空回りしないよう会員の皆さんもよろしく！

仮称「北山たいけん館」が実現すれば新しい拠点となり、ますます人が集まり、町は活性化することでしょう。東京の建造物の中で唯一の国宝「正福寺千体地蔵堂」では、秋に「地蔵まつり」が行われ、多くの史跡散策を兼ねて大勢の人が訪れます。この時は、「歴史とロマン」の会も実行委員会に加わり、協力参加しています。秋の市民対象の「歴史散策」は、会の行事として恒例化し、郷土食の手

全国から注目された、下宅部（しもやけべ）遺跡出土品の保管、展示、活用のための資料館の建設は市民が大きく待ち望んでいたことです。いつ実現するか見通しが立たない状態では不安が募るばかりです。下宅部遺跡資料館の建

打ちうどんの食体験も人気の呼んでいまして、加者は40名で実現はしました。町の活性化のための人寄せの目玉としての「トトロの家」を東村山へも協力し、愛知万博会場に出かけたり、市内で署名活動も行いました。さらに、近隣市と連携して行われている「文化財めぐり」の行事にも会として協力しています。



建設準備のため既存建物の解体整地工事中

望書を提出することしました。市の財政事情が厳しいことは熟知していますが、会の設立趣旨から、提出せざるを得ませんでした。

市の歴史と自然をアピール

「歴史とロマン」の会では、市の名所旧跡を訪れる人達のためにガイドスタッフを組織しました。広く市民から募集し、何回か研修会を重ね、ガイドボランティアを養成しました。現在20余名が活動中です。（裏面に詳しく紹介）

編集後記

今年度の広報誌発行は1回で終わってしまいました。建設の延期は残念ですが会の事業の広がりには着実に